



平成 23 年 2 月 7 日  
内閣府（防災担当）

## 中央防災会議「災害教訓の継承に関する専門調査会」 （第 15 回）議事概要について

### 1. 専門調査会の概要

日 時 : 平成 22 年 12 月 22 日（水） 15:00～17:00

場 所 : 中央合同庁舎第 4 号館 12 階 1214 特別会議室

出席者 : 伊藤座長、池谷、尾田、北原、寒川、清水、首藤、鈴木、関沢、武村、平野、藤井の各委員、安田岐阜大学教授  
松本内閣府特命担当大臣（防災）、原田内閣府審議官、原田内閣府政策統括官（防災担当）、長谷川内閣府大臣官房審議官 他

### 2. 議事概要

松本大臣からのご挨拶後、普及啓発用冊子「災害史に学ぶ」について、第 14 回の専門調査会で出されたご意見に対する対応、「災害史に学ぶ」の「風水害・火災編」「海溝型地震・津波編」「内陸型地震編」、「体験集編」の作成、同冊子等を活用した普及啓発についてご議論いただいた。

各委員からの主な意見は次のとおり。なお、議事録については、後日各委員の確認を経た後に公表する。

なお、今回で本専門調査会は終了する。

#### 普及啓発用冊子「災害史に学ぶ」について

##### <第 14 回専門調査会における意見に対する対応>

〔資料 1 説明：伊藤座長〕

- 特段の意見なし。

##### <普及啓発用冊子「災害史に学ぶ」（風水害・火災編）について>

〔資料 2 説明：安田岐阜大学教授〕

- 酒田の大火の副題について、「日本最後の」は大げさではないか。平常時最後の都市大火と「平常時」を入れた方がよい。
- 酒田の大火後の教訓として大きいのは、都市防災力の常備化が進んだ（約 20%→約

80%) ことが大きい。

- 消防力の常備化が都市大火を減らしたが、阪神・淡路大震災のような同時多発火災では都市火災の危険性があるので、初期消火・自主消化の重要性を記述すべき。

#### <普及啓発用冊子「災害史に学ぶ」(海溝型地震・津波編)について>

[資料3説明: 首藤委員、武村委員]

- 安政東海地震・安政南海地震についてはもう少し加筆した方がよい。
- 関東大震災については「M7.9」という記述と「M8 クラス」と2つの記述があるが、この使い分けについて教えてほしい。
  - 関東大震災は「M7.9」で広まっているが、最新の知見では「M8.1±0.2」である。中学生等を想定している冊子であるので「M8 クラス」という言い方で巨大地震ということを表している。

#### <普及啓発用冊子「災害史に学ぶ」(内陸型地震編)について>

[資料4説明: 寒川委員]

- 巻末の「主な地震災害」は非常に労作である。選定の基準、出典、筆者を入れるとさらに使いやすいものとなる。

#### <体験集編の作成について>

[資料5説明: 北原委員]

- 作成について了承。

#### <普及啓発について>

[資料6説明: 事務局]

- 特段の意見なし。

#### **専門調査会終了にあたっての各委員からの所感**

- 100 災害が目標であったが、25 災害の取り扱いとなった。今後は、これをいかに活用していくかというのが一番重要な課題である。25 の教訓は大変重要なものであり、海外への情報発信なども期待したい。普及啓発事業によって、地方から「私たちの地元の災害も取り扱って欲しい」という声上がることを目標に行うべき。
- 25 の災害について取りまとめ、普及用冊子までとりまとめたことは大きな成果だが、これまでの成果は「継承すべき災害の教訓を取りまとめた」ことであり、今後は「どのように継承していくか」ということを真剣に考えていくことが重要だ。災害を経験しないためにも、子どもへの継承は大変重要。学習指導要領に災害の教訓を伝えるということを入れることも重要だ。
- 理学・工学の学者から歴史の専門家、実践・実務の方が一堂に集まって交流し、研究するということは画期的で、非常に成功であった。歴史の専門家であり、小委員会の委

員長である北原委員無しではなしえなかった成果だ。また、若手の研究家に、災害の研究も歴史のテーマになりうることを感じてもらえたことも成果であった。

- 井上ひさし先生の「いつまでも過去を軽んじていると、やがて私たちは未来からも軽んじられることになるだろう」という言葉が胸に響いており、これは防災対応に通じる警句でもある。この専門調査会は災害に関する“温故知新”であった。これをいかに継承し、社会に還元していくことが、今後問われている。

<本件問い合わせ先>

内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（災害予防担当）付

企画官 仲程 倫由

総括・調整担当主査 道城 竜

TEL : 03-3501-6996（直）